

オープン市場短信 (2006年9月)

2006.9.06

8月のCP市場動向

8月のCP新規発行額は、良好な発行環境が続く中、発行期間の短期化が進んでいることなどをを受けて、期落ち(約4兆5千億円)を大きく上回り、5兆1,600億円強と単月では昨年12月とほぼ同額の大量発行となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。

発行体にとっては金利水準が上がったものの、間接金融に比べて低コストで資金調達が可能であるため、発行希望が増加している。また、月末にかけてはCPIや鉱工業生産指数の発表を受けて年内利上げ観測が後退したことから、投資家やディーラーの運用姿勢積極化が目立った。大手銀行では、量的緩和政策期には大量の資金余剰を背景にキャッシュつぶしの積極的なCP運用がみられたが、利上げ後も同様の根強い運用ニーズが残っているように窺われる。

発行レートは、足元現先レート水準は前月とほとんど変わりが無いが、需給関係の良さを受けて全面的に低下し、各ターム共にTiborレートを割り込む水準での発行が可能となった。期内物が0.33%近辺~0.36%台、期越物は0.385%台~0.44%台での出会いとなっていた(a-1格銘柄)。

また、期内物から期越物まで銘柄間格差の縮小が進み、銘柄・発行ロットによってはa-1格銘柄の発行レートが最上位格銘柄を下回る事例もみられた。

銘柄別の発行レート

8月のCP取引発行レートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.328 ~ 0.370%	0.375 ~ 0.455%	0.398 ~ 0.438%
格付 a-1(オペ適格)	0.34 ~ 0.395%	0.385 ~ 0.438%	0.400 ~ 0.439%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.33 ~ 0.360%	0.394 ~ 0.428%	0.419 ~
格付 a-1(リース銘柄)	0.36 ~ 0.392%	0.4 ~ 0.464%	0.400 ~ 0.500%
格付 a-2	0.4 ~ 0.460%	0.42 ~ 0.55%	0.550 ~ 0.70%

CP オペ

CP現先オペは、7日・22日と月中2回計6,006億円の期日が到来したが、7日期日分は同日スタートでロールされ(3日オファー)、22日期日分については24日スタートで新規オペ(22日オファー)が実行された。応募総額はいずれも買い入れ予定額を上回ったが、足元現先レート水準での落ち着いた落札結果となった。足切レートは、7日スタート分が0.32%、24日スタート分は0.29%。平均落札レートは、7日スタート分が0.329%、24日スタート分は0.312%であった。

8 月末の CP オペ残高

CP 現先オペ 5,949 億円

(短期社債・保証付短期外債 5,685 億円/資産担保短期債券 264 億円)

ABCP

8 月末の ABCP の発行残高は、約 4 兆 1,462 億円と、前月比約 297 億円増加した。

短期社債残高

6 日、証券保管振替機構から 8 月末の短期社債の発行残高が公表された。それによると、月末残高は 19 兆 5,387.02 億円 (前月比約 8,581 億円増) となり、2 ヶ月連続で増加した。電力会社が季節要因で大きく減少したが、その他金融・輸送機器などが過去最高水準になるなど多くの業種で幅広く発行が増加した。8 月末時点の発行登録企業数は 421 社で、既発行企業は 375 社であった。

現先市場

月中現先レートは、ほぼ横這いで推移し、S/Nレートは0.30~0.35%のレンジでの出会いとなった。ターム物レートは、0.31~0.35%での出会いであった。

9 月の CP 市場動向

9 月中の CP 償還額は、約 4 兆 8 千億円と前年同月 (約 5 兆 5 千億円) を下回っている (除く金融機関発行 CP・ABCP)。今月は、中間決算期末月であるため、有利子負債圧縮の動きから新規発行は減少し、前年同様、4 兆円を割り込むのではないかと見られる。

発行レートは、前月同様投資家やディーラーの運用ニーズが強いことから弱含み横這いで推移すると予想する。Tiborレートを下回り、短国レート水準にどれだけ近づくかといった動きになるだろう。

CPオペ

現先オペは、7 日と 24 日に月中 2 回の期日が到来する。7 日期日分については、資金余剰日であったことからロールが見送られた。CP オペは、資金不足日に合わせて実行される傾向が見られるため、今月は 15・25・27 日のいずれかにスタートされることとなるのではないかと見られる。

現先市場

月中現先レートは、S/N 物で 0.30~0.35%の出会いを予想する。ターム物も、ほぼ同水準であろう。

(松倉)

参考資料

業種別残高内訳

(単位：億円)

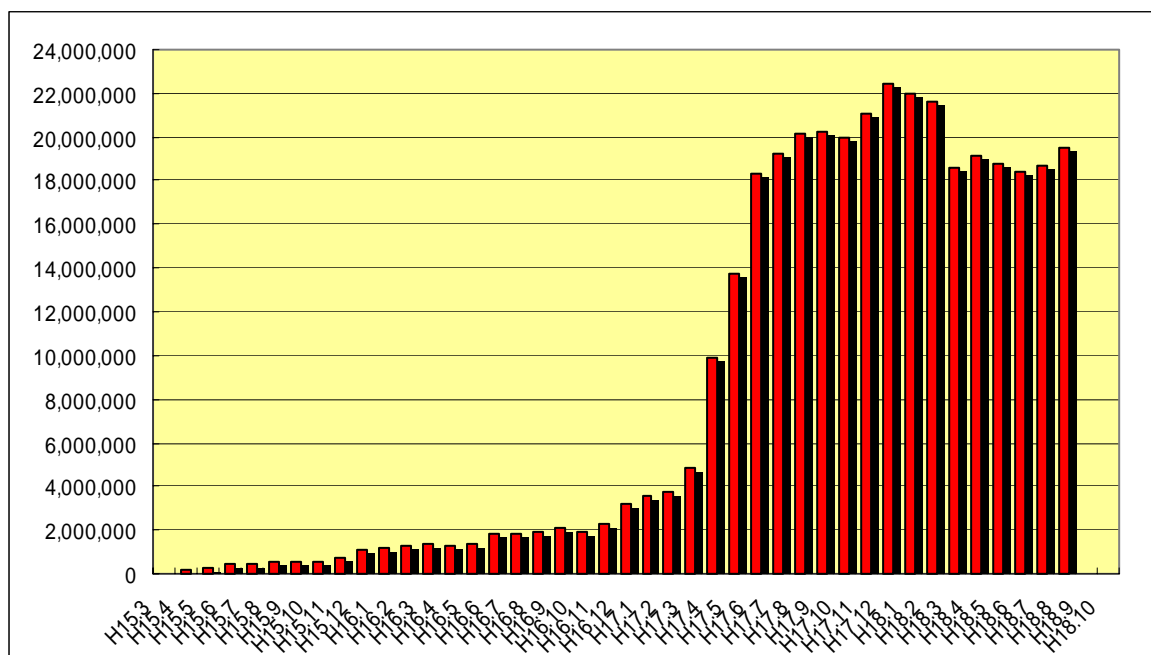
業 種	8 月末残高	7 月末残高	増減
事業法人	56,804	55,616	1,188
その他金融	66,469	64,504	1,965
金融機関	30,652	25,521	5,131
(銀行等	15,221	12,426	2,795)
(証券	15,431	13,095	2,336)
ABCP	41,462	41,165	297
計	195,387	186,806	8, 581

短期社債月末発行残高 (H15 年 3 月 ~ H18 年 9 月)

8 月末発行残高：19 兆 5,387.29 億円

発行登録企業：421 社 (発行実績あり 375 社)

(単位：百万円)



8 月末発行残高ベスト 20

(単位:百万円)

	発行企業名	8 月末残高
1	オリックス	795,800
2	フォレスト・コーポレーション	654,000
3	ダイヤモンドリース	540,500
4	日産自動車	500,000
5	住友信託銀行	488,400
6	エイベックス・ファンディング・コーポレーション	443,100
7	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	414,100
8	野村証券	395,000
9	ミレミアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	394,900
10	みずほ証券	385,300
11	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	359,600
12	住商リース	353,500
13	新日本石油	340,000
14	東京リース	325,100
15	UFJ セントラルリース	306,500
16	みずほコーポレート銀行	266,800
17	興銀リース	285,800
18	三菱商事	256,000
19	エイチジーエム・アセット・ファイナンス	254,300
20	日産フィナンシャルサービス	250,000

参考出所 (株)証券保管振替機構